

曳山を生んだ長浜の美術と文化②

みなみ い べ ちよう

南伊部町

あぶら や じ へ え け

油屋治兵衛家

所蔵品展



台水居士像(部分)
巨勢小石画
長浜城歴史博物館蔵



幽霊・罫に仔犬・白蔵主図(部分・3幅対のうち右幅)
巨勢小石画 長浜城歴史博物館蔵

2018年
3月12日 月 ▼ 5月6日 日

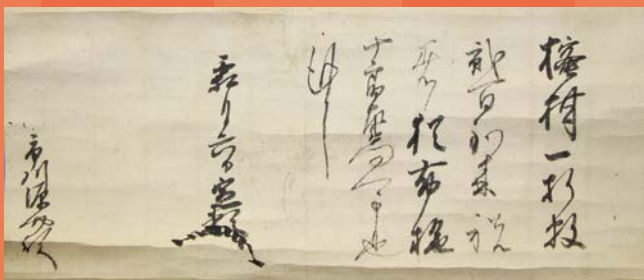
- 開館時間：9時～17時（入館は16時30分まで）
- 入館料：大人600円、小中学生300円
（団体20名様以上2割引）※長浜市・米原市の小中学生は無料
- 主催：公益財団法人長浜曳山文化協会

展示説明会

日時：3月17日(土) 午後1時30分
場所：曳山博物館1階展示室（要入館料・申込不要）



豊臣秀吉像(部分)
長浜城歴史博物館蔵



六角定頼書状 長浜城歴史博物館蔵

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON St. AND HAKUBTSUKAN Ave.

大瀬川

長浜市元浜町7-8

☎ 0749-65-5050

営業時間 10:00～17:00 火曜日定休

ホームページ <http://www.nishikawa.to>

不要品高価買い付けいたします

鑑定・評価【無料】

曳山を生んだ長浜の美術と文化②

みなみ い べ ちやう

南伊部町

油屋治兵衛家

所蔵品展

ユネスコ無形文化遺産に登録された「長浜曳山祭」。この祭を、江戸時代から継続し守り伝えてきたのが長浜町衆です。特に、各町の有力者は、曳山を維持する資金を提供し、祭礼の費用を負担してきました。「動く美術館」として知られる長浜の曳山を装飾する染織品や絵画・金工品は、各町の富裕な商人である町衆によって整えられてきました。

この企画展では、こうした曳山祭を支えた町衆の一人である、長浜南伊部町に居住した「油屋治兵衛」家について紹介します。

「油屋治兵衛」家は、江戸時代から南伊部町に居住し、油を製造販売する油問屋を家業としていました。家伝では、羽柴秀吉が小谷城から長浜城へ移ってきた時に小谷城下の伊部町から一緒に移住してきたと伝えています。江戸時代後期には長浜町米札小引替所御用掛や物主役・御仕法引替役を歴任し、彦根藩への上納金により苗字帯刀を許されました。



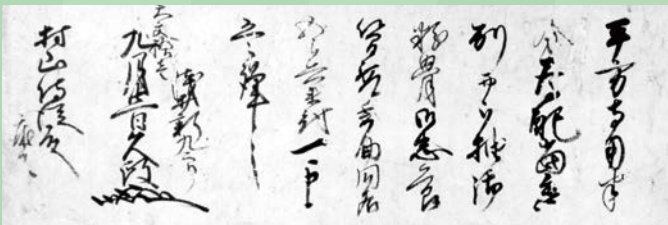
幽霊図 (3幅対のうち中幅)
巨勢小石画
長浜城歴史博物館蔵



青緑松陰高士図
日根対山画
長浜城歴史博物館蔵

今回の展示は、この「油屋治兵衛」家の所蔵品を、絵画・古文書・工芸品などに分類して紹介します。

本企画展を通じ、曳山祭を支えてきた町衆の所蔵品について広く紹介するとともに、町衆の財力やその審美眼などについて再確認頂き、曳山を支えてきた町衆文化をより深くご体感いただく機会となれば幸いです。



浅井久政書状
長浜城歴史博物館蔵



白蔵主図
(部分・3幅対のうち左幅)
巨勢小石画
長浜城歴史博物館蔵



源義家像 (部分)
円山応震画
長浜城歴史博物館蔵

ユネスコ無形文化遺産「長浜曳山祭」の
実物の曳山が見られる博物館

曳山博物館

4月7日(土)は

曳山交替式

観覧
無料

場所：曳山博物館 広場
時間：午前10時～午後3時頃
搬出：鳳凰山、壽山、猩々丸、高砂山
搬入：孔雀山、常磐山、翁山、萬歳樓

曳山特別公開4基展示
4月8日(日)～22日(日)



- 9時～17時 (入館は16時30分まで)
- 休館日：年末年始 (12月29日～1月3日)

入館料

	大人	小中学生	障がい者
個人	600円	300円	無料
団体 (20名様以上)	480円	240円	障がい者手帳の提示で本人と介護者1名

*長浜市・米原市の小中学生は無料



滋賀県長浜市元浜町14番8号 [TEL] 0749-65-3300 [FAX] 0749-65-3440

●JR長浜駅から徒歩7分 ●長浜ICより車で10分